

## JIA 関東甲信越支部長活動報告

2013年5月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

JIA 関東甲信越支部は6月15日の建築家の日に「建築物の長寿命化と文化資産化を目指す」声明を出しました。支部では3、4、5月の役員会で協議し、その後常任幹事会と保存問題委員会との間で協議を進め産み出したものです。具体的な活動は支部、地域会で活発に進めるという JIA の方針に沿った形で関東甲信越支部がこのような声明を出すことは意義あることだと考えています。自ら提言を發した以上真価が問われるのはこれからです。専門家としてその名に恥じない活動の心掛けが重要だと考えております。

[「建築物の長寿命化と文化資産化を目指す」声明 20130615](#)

6月28日には新しい法人制度に則った公益社団法人として最初の本部総会が開催されます。会員の皆様のお手元に議案書と出欠のはがきが届いたところだと思います。新 JIA の第1回本部総会にぜひ多くの会員による出席をお願いいたします。旧法人の定款とは違い、新たな法人法（一般社団法人に関する法律）の規定により、新しい定款は総会成立のため全会員の半数以上の出席を求めています。出席される方も欠席される方も必ず同封のハガキを投函してください。議案の是非の前に総会の成立が大きなハードルとなっています。新生 JIA を祝う懇親会への出席も合わせてお返事いただきますようお願い申し上げます。

### 支部長活動報告

- 1日 4月より東京都都市整備局市街地建築部に新しく就任された上野部長を、菊池事務局長と共に訪問する。7月開催予定の東京建築三会行政懇談会についての意見交換と支部総会の招待状を持参し懇親会出席をお願いする。
- 3日 本部建築三会による第2回意見交換会に出席する。今回は日本建築士事務所協会連合会にて。テーマは「契約」。書面による契約の必要性、不当な要求の禁止／不当に低い報酬額による契約の禁止など、法制定の要望と並行して、三会が連携して社会に対してアピールすることを確認する。
- 7日 午前中に会員増強特別委員会開催。本部委員会再編に伴いフェローシップ委員会が新たにできるが、入会並びに入会後の対応も念頭に入れた新しい

受け皿となる。午後は第211回理事会開催。小規模建築物の設計施工一貫の場合の契約約款を民間7会連合で作っている。設計施工一貫の小規模建築物の場合、設計契約が無いことが多く、消費者保護のため契約約款を作るというもの。設計者並びに設計業務に係わる項目が軽視されている内容だが、法曹関係者はまず設計契約締結を進めることが先決と言っている。この7会の会議に参加しながら内容に関して意見を言い変えていく、と同時に小規模建築物設計施工分離型約款の作成を年内をめどに進めていくことの説明がある。職責委員長からは、行政処分者5名に関する懲戒委員会がある。最近、国の中央建築審査会では、審査機関も見過ごしたミスで再申請にて修正し、実質被害が無い場合でも行政処分されることが多発しており、他会も含めて問題提起している。4名については実質の被害がほとんどないこと、誠意をもって対応していることから懲戒不相当、1名に関しては違反は軽微だが悪意が認められることから懲戒相当との委員会答申について理事会承認された。河野資格制度委員長から資格制度に関する現状とこれからの方針について報告があり意見交換する。

- 9日 翌日の支部総会準備のため支部四役会議を開催する。支部が定める支部規約、地域会規約について修正事項があり当日配布することにする。
- 10日 支部総会が開催される。先だって、支部常任幹事会、支部役員会が開かれ、有効投票に関する取扱い等決議して総会へ臨む。議案は全て原案通り決議された。総会後に筒井専務理事を迎えて会員懇談会を開催し、会員制度、公益事業を題材として意見交換を行う。夜の懇親会では多くの法人協力会員（旧賛助会員）にも参加いただき、楽しい夕べとなった。
- 11日 JIA 世田谷地域会総会に出席する。前アルカシア会長の国広ジョージ氏による講演があり、地域会で活動している建築家こそアジアで求められている、と熱く語られた。
- 14日 JSBの若手建築家交換プログラム第1弾のタイ王立建築家協会との交換プログラムの日本候補者の審査を行う。多彩な若手からの応募で頼もしく思う。資格制度委員会は通常WEBで開催しているが、今日は全国委員が東京に集まり面前で議論した。委員会後の懇親会に合流する。
- 15日 国際委員会に出席する。JIA 北海道大会での国際会議、AIA 大会、アルカシア大会などについて議論する。5月初旬に開催されたASA（タイ）大会に会長名代として参加した高階委員より報告がある。後半は士会連合会の国際委員長、櫻井泰行氏より日本、韓国、中国の建築実務を記した建築実務国際ハンドブック（HOPPA）発刊に当たって説明をしていただく。地域会、支部では二会、三会の連携が進んでいるが、国際委員会も連携していくことを提案する。
- 17日 東京三会建築会議が開催される。7月16日に開催予定の東京建築三会行

- 政懇談会の議題案を各会が持ち寄る。①東京都が4月1日より開始した液状化対策アドバイザー制度並びに建築相談について②建築士事務所の処分の基準について③木密地域不燃化に関して④景観に関して、特に市民目線で。など、次回までに各会文書化して持ち寄ることにする。
- 18日 支部長会議を四国香川にて開催する。各支部総会の報告。会員制度について各支部での進捗、反応を意見交換する。
- 22日 リトアニア建築展実行委員会を開催する。UIA大会誘致のベルリン大会の際、榎文彦氏を団長として第1回目が開催された。UIA東京大会開催の2011年に第3回目が東京で開催されたが第4回目の今回は再びリトアニアにて開催される。建築雑誌が建築家番付を作っていた時代から、展示会など多様な場が番付する時代になっている。日本の若い建築家が世界を巡るきっかけとして、作家だけでなく日本の現実を見てもらう良いきっかけとして仕掛けていく。交流委員会と支部四役との合同会議を開催する。法人協力会員からは会計処理などについて問い合わせがある。10月18日に毎年恒例のフレンズカップがあるが、正会員の出席が少ない。昨年、建築士会大会と重なって出席できなかった芦原会長は今年出席されることになっているが、多くの正会員の出席を促し新しい制度になった法人協力会員との交流を図りたいと思っている。その後、支部四役会議を開催する。本部委員会再編に伴い、支部委員会のミッションの再確認並びに支部規定類の整備を左知子総務委員長を中心に行っている。
- 23日 埼玉地域会総会に出席する。公益事業、地域会活動費などについて意見交換をした。

支部長活動報告 2013年5月

2013年6月18日作成 上浪 寛



総会



懇親会